

## 26. 肺血流, 換気シンチグラフィにより経過観察された肺動脈原発のMFHの1例

森 泰胤 西山 佳宏 津内 保彦  
 外山 芳弘 余田みどり 細川 敦之  
 大川 元臣 田邊 正忠 (香川医大・放)  
 松野 慎介 (住友別子病院・放)  
 深田 英利 (香川医大・二内)

症例は63歳, 男性, 呼吸困難を主訴に来院. エコーにて肺動脈原発腫瘍が疑われた. MRI等画像診断にてさらに肺動脈末梢, 肺内への病変の広がりを認めた. 入院時の肺血流および換気シンチグラフィでは血流の低下を見るも換気は比較的保たれており, 肺動脈の腫瘍による急激な閉塞と考えられた. 摘出術が施行され, 術後診断はMFHであった. 腫瘍残存部は急速に増大し, のちにはシンチで血流および換気の低下が認められた. 以降症状悪化し, 術後4か月にて右心不全にて死亡した. 肺血流および換気シンチグラフィは血流および換気の臨床経過の推移の把握に有用であった.

## 27. 原発性肺癌のN因子描出における<sup>201</sup>TlのSPECTの有用性

松野 慎介 日野 一郎 (住友別子病院・放)  
 三谷 昌弘 木内 孝明 津内 保彦  
 細川 敦之 川崎 幸子 佐藤 功  
 高島 均 田邊 正忠 (香川医大・放)

原発性肺癌47例中43例にTl-201 chlorideの, 26例にGa-67 citrateのSPECTを施行し, 手術肺にて肺門・縦隔のN因子についてretrospectiveに検討した. Tl-201 SPECTは肺門リンパ節でsensitivity 94%, specificity 89%, accuracy 91%, 縦隔リンパ節でsensitivity 100%, specificity 89%, accuracy 91%であり, Ga-67より優位な結果が得られた. CTでの縦隔リンパ節の評価は1cm以上を陽性とした場合accuracyは68%, 7番リンパ節のみ1.5cm以上, その他1cm以上を陽性とした場合, accuracyは79%と, Tl-201 SPECTがCTに比べて優れていた.